

多 建 第 485 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

多可町長 戸 田 善 規



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

仲秋の候、貴職にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当町の道路行政に格別のご高配を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号でご依頼のありましたみだしのことについて、別紙のとおり送付いたしますのでよろしくお願いいたします。

問い合わせ先

多可町役場

技監 笹 倉 康 司

TEL 0795-32-2380

FAX 0795-32-2349

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

①道路整備財源の安定的な確保

中央では道路整備は十分という意見もあるが、地方においては道路整備がまだまだ必要である。道路特定財源が一般財源化されることとなったが、道路財源を曖昧にするのではなく、道路整備や維持管理に必要な財源を安定的に確保することが必要である。

②事業評価手法の見直し

現在の事業評価手法である走行時間や経費から算出する総交通費用方式による便益の算出では、交通量の少ない地方部の道路整備は不利となっている。また、事業評価の関係から、道路整備の優先順位の付与が必ずしも住民のニーズに合致せず、地域が真に必要としている道路の整備が、後回しにされている事がある。

費用対効果のみで道路の必要性を論ずるべきではないと考えるが、評価指標も必要であることから、災害で孤立する集落を救うことや救急医療、新規産業支援など多様な観点から評価すべきであるとする。

②—1 地域の現状と抱える課題

○現状

- ① 当町は兵庫県下で唯一、高速道路も直轄国道も鉄道も無い町であり、国の骨格となる幹線道路とのネットワークの形成や、公共交通機関への利便性が脆弱である。
- ② 町内の幹線道路網は、中区、加美区を縦断する国道427号が主軸となっているが、道路線形が悪い箇所や自転車歩行車道が未整備の箇所もある。また、八千代区の市街地を縦断する県道加美八千代線についても、未整備箇所も多く、町内幹線道路の整備が遅れており安全・安心な道路とはなっていない。
- ③ 国道427号は西脇市で国道175号と分岐するが、西脇市街地部を通るため複雑で、また交差点や密集地などで交通渋滞が発生するなどの時間的ロスも多くなっている。
- ④ 国道427号は多可町中区高岸交差点から丹波市青垣町小倉交差点まで約30kmの間、東へ抜ける道路が一本も無い（河川に例えると加古川の河口から鬨竜灘まで橋が一本も無い）ことから、隣接市町との地域交流の支障となっている。

○課題

- ① 近隣的高速道路ICや直轄国道、鉄道等へのアクセス強化のための道路網の整備が必要
- ② 町内幹線道路や合併支援道路の整備を促進するとともに、自転車歩行車道の整備など、安全・安心に向けた道路整備が必要
- ③ 国道175号から国道427号へのスムーズなアクセス道路の早期整備が必要
- ④ 国道427号などの南北道路だけでなく東西道路の新規整備が必要

②—2 地域の目指すべき将来像

□ 1時間交通圏を広げる

高速道路網へのアクセスなどを整備し、1時間で主要な周辺都市へ行ける交通基盤を整備し、通勤や暮らしの便利なまちを目指す。

- ・ 京阪神都市圏からの多面的なアクセスとして、町外に位置する国道175号、176号や中国自動車道、舞鶴自動車道、北近畿豊岡自動車道、播但連絡道路との合理的な連絡道路網の整備を推進する。
- ・ 都市との交流及び町内の連携を強化する幹線道路網として、主軸となる国道427号をはじめ（主）多可北条線、（主）丹波加美線、（主）西脇八千代市川線、（一）加美八千代線、などの整備を推進する。

□ 地域内での利便を高める幹線道路や生活道路の整備

- ・ 合併支援道路である町道山野部坂本線や、国道427号を補完する町道川東線、町道中町西線などの整備を促進する。

これらの、整備を進めることにより、

- ・ 地場産業の振興と新規産業の誘致育成
- ・ 観光振興の支援
- ・ 救急医療や福祉活動の支援
- ・ 旧町の地域特性を活かした町村合併への支援

等につなげ、都市と農村の交流拠点として「天たかく 元気ひろがる 美しいまち 多可」の実現を目指している。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

兵庫県多可町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
救急医療支援 観光支援 通勤圏の拡大や 企業誘致	（主）丹波加美線（清水坂トンネル）の整備 （事業の概要等） ・町内を南北に縦断する国道 427 号と丹波市にある北近畿豊岡自動車道氷上 IC とを連結する道路であり、約 5 km を県で整備中（その外 1.3 km を町で施工済み） ・国道 427 号は多可町中区高岸交差点から丹波市青垣町小倉交差点まで約 30 km の間、東の丹波市へ抜ける道路が一本も無いが、道路整備が完了すればほぼ中間地点でアクセス可能となる	○期待する効果や評価等 ①救急医療支援 県立柏原病院への搬送時間の短縮： 約 50 分→約 25 分 （町内に中町日赤病院があるが医師不足から実質には救急病院の機能は果たしていない） ②観光支援 トンネル入り口部の大河丘陵に西日本最大級の規模（総面積 5ha）のラベンダー園を、町が事業主体となり平成 20 年 6 月に開園した。トンネル開通後は氷上 IC より約 15 分でアクセスが可能となる。 ③通勤圏の拡大や企業誘致 JR 福知山線の柏原駅まで車で約 20 分で到着が可能となることから、大阪圏域が通勤圏内となる（柏原駅→大阪駅まで約 80 分） また、氷上 IC まで約 15 分でアクセスできるため新規企業誘致の可能性大	

道路施設の代表事例

主要地方道 丹波加美線

兵庫県多可町

